

豊かな自然と歴史のこころがつくる活力のあるまち

# そえだ 広報

Soeda  
Public  
Relations

SEP.2020

9  
No.707

年に2回だけ出合える——

英彦山の「光の道」

●天空の灯火(詳細は10ページ)

# 百歳万歳健康長寿

一、野菜づくり  
一、毎日、欠かさない日誌  
一、規則正しい生活

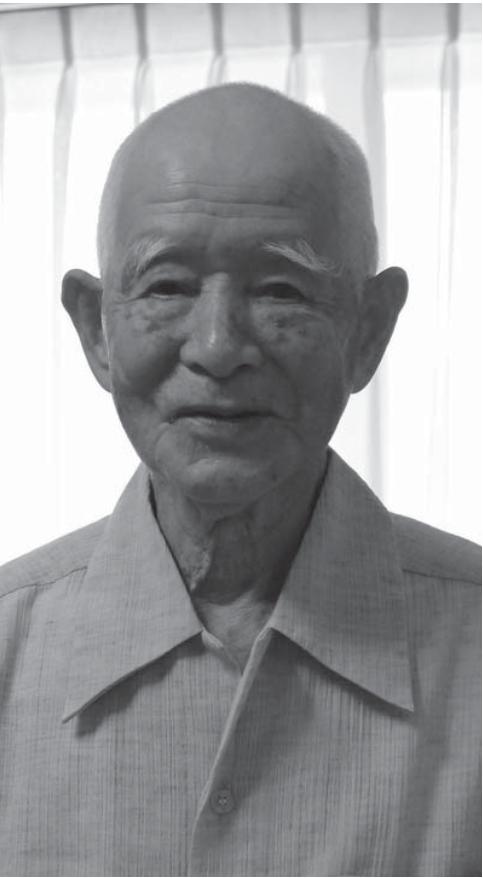
石井 新さん

樹田

大正9年10月15日生  
添田町樹田出身

9月21日は老人を敬愛し、長寿を祝う敬老の日です。  
町には元気な高齢者が多くいます。その中のひとり、  
来月百歳を迎える石井新さんに話をお聞きしました。

伸びた背筋に、しつかりとした歩みで  
毎日、畑に出るその姿は、まさに健康長寿



日 本で初めて国勢調査が実施された大正9年（1920年）生まれの石井さんは、来月め

↑高校野球をテレビで見ることが好きな石井さん。今年はコロナの影響で交流試合しかなく残念そうでした

でたく百歳の誕生日を迎えます。背筋は伸び、杖も持たずに歩く足の運びはしつかりとしており、その齢を聞けば、ほとんどのかたが驚かれるそうです。

## 毎日の畠仕事と

石井さんは樹田生まれで、現在も樹田にある家で息子の直さん、悦子さん夫婦と暮らしています。その石井さんが楽しみにしているのが、家の裏にある畠での野菜づくりです。畠に出ると夏の強い日差しの下で、石井さんが丹精込めで育てたナスやキユウリが実っていました。「夏は水やりが大変ですね。

## 辞書を引きながら書く日誌

石井さんは樹田生まれで、現在も樹田にある家で息子の直さん、悦子さん夫婦と暮らしています。その石井さんが楽しみにしているのが、家の裏にある畠での野菜づくりです。畠に出ると夏の強い日差しの下で、石井さんが丹精込めで育てたナスやキユウリが実っていました。「夏は水やりが大変ですね。

そろそろ大根を植えるので苗を買に行かないといけない」と語る石井さん。収穫した野菜は自宅で食べたり、友人に差し上げたりするそうで「喜んでもらえると嬉しい」と笑顔を見せています。石井さんのもうひとつの中日誌が毎日、書いている日誌です。朱色のカバーの3年手帳には、天気や毎朝の起床時間、食事の内容、血圧、畠仕事の内容、その日の行動と時間などがつづられています。数年前から毎日、欠かすことなく書かれており、「1年前に何をしていたか振り返ることができます。わからない字は辞書を引いてしらべながら書いている」と話す石井さ

人の日誌からは規則正しい生活と几帳面さが見られました。

## 大正、昭和、平成、令和を 生きた1世紀

若い頃の石井さんは町内にあつた蔵内炭鉱で働いていましたが、その会社が譲渡されたため、神戸に行き鉄工所に勤務。戦争が激化すると招集され、フリーピンなどで兵役に就きました。「広島に原爆が落とされたときは宇品（広島の地名）にいた。爆心地から480メートル離れた場所だった」と語った戦前、戦中の体験談は、語り継ぐべき貴重な話でした。

戦後は、大峰や三崎の炭坑で働き、閉山後は直方市の鉄工所や町内で74歳まで機械工として務め上

## 自分のことは自分でする

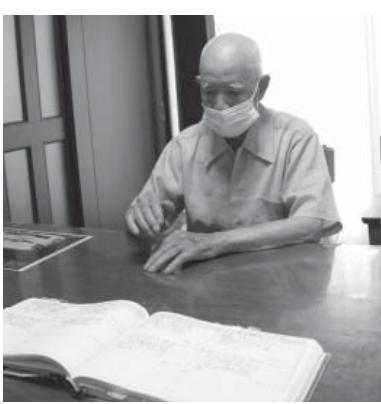
毎朝7時までには起きて朝食をとるなど、規則正しい生活を送る石井さん。月1回の通院も公共交通機関を利用して、買い物をして帰ります。「食事や着替え、部屋の掃除まで身の回りのことは全部自分でしている」と家族は話していました。介護認定は受けず、家族のサポートを受けながら生活する石井さんはまさに健康長寿。これからも、元気にお過ごしください。



↑畠でナスを手に取り「今は日中暑いので、できるだけ朝夕の涼しい時間に作業します」と石井さん。野菜は家族で食べたり、人にあげたりするそうです。「ゲートボール仲間にあげると喜んでもらえた」と嬉しそうに話してくれました



↑6年前に他界した最愛の奥さんとツーショット写真。真面目で几帳面な性格の石井さんは古い写真なども自分できちんと管理していました



→日誌を見せてくれる石井さん。昨年まではゲートボールで地域の皆さんとの交流を楽しんでいたようです。「午後1時よりゲートボール3時までいる」とご自身の字でしっかりと書かれています

**石井さんに聞きました**

**健康長寿の秘訣はなんですか？**

胃腸を悪くして、今は薬を飲んでいますが、それ以外は大きな病気もしませんでした。規則正しい生活で野菜づくりと日誌をつけること、自分のことは自分ですること。あとは、たくさん運動をすることですかね。

**9月21日は老人を敬愛し、長寿を祝う敬老の日です。**

町には元気な高齢者が多くいます。その中のひとり、来月百歳を迎える石井新さんに話をお聞きしました。

**長寿の秘訣**

一、野菜づくり  
一、毎日、欠かさない日誌  
一、規則正しい生活



# 健康 長寿

元気な皆さんを応援

## 笑顔で健康

# 転ばぬ先の介護予防事業

## 元気俱楽部 若返り教室 介護予防ポイント



### 町

では、高齢者の皆さんが住み慣れた地域で、いつまでも健康で安心して暮らせるように介護予防事業を行っています。ここでは元気の源である町の支援事業をご紹介します。

### 地域で支え合つて予防 そえだ元気俱楽部

65歳以上の人を対象に各地区の公民館などで、行われている「元気俱楽部」。平成20年度に事業を開始し、今ではすっかり高齢者の皆さん的生活に根付いた活動となっています。参加者は健康チエックや頭の体操、ストレッチ体操、レクリエーションなど社会福祉協議会スタッフの趣向を凝らし



↑男性の参加者が多い野田行政区。休憩中には中村大五郎さんがハーモニカを披露していました

↑8月18日の英彦山行政区では地域包括支援センターによる介護について講演が行われました

たプログラムで、楽しみながら筋力向上や認知症予防に努めています。下落合行政区の加藤千恵さんは「地域の皆さんと顔を合わせて楽しい時間を過ごしています。これからも参加したい」と語り、「参加したて3年目。毎週この日が楽しみ」と元気いっぱいに笑顔を見せる野田行政区の國武カオルさん。地域の皆さんと一緒になつて樂氣俱楽部。地域の皆さんがあつたときを過ごしながら、頭やからだを動かす元気俱楽部。地域の皆さんがあつたときを過ごしながら、心も体も実感する集いの場です。皆さんもお気軽に元気俱楽部に参加してみませんか。

↓元気な女性の笑顔あふれる下落合公民館。皆さん元気俱楽部の日を楽しみにしているようでした



### 複合した介護予防事業 若返り教室

若返り教室とは、将来にできるだけ介護が必要な状態にならないように今のうちから体の機能の維持・改善をしていく介護予防の教室です。65歳以上の介護認定を受けていない人でアンケート調査の結果、これから支援や介護が必要となるおそれのある方が参加しています。この教室では、足腰を中心とした筋力の維持や低栄養状態にならない

ための栄養改善、また口の中を健康に保つための口腔機能改善などを複合的に行うことでの効果的な介護予防に取り組んでいます。参加者は笑顔で会話をする姿が見られ、週一回の教室がとても楽しみな様子。介護を未然に防ぐのにかなりの高評価となっています。

また、町では高齢者パソコン教室やトランポリン教室、ストレッチ教室といった高齢者教室を実施。地域での介護予防普及のための人材育成をする健康体操教



#### 高齢者見守りサービス

■テレビ電話サービス  
テレビ電話（タブレット端末）を自宅に設置し、週1回の見守りコールで安否確認を行います。

##### 【対象者】

▶ 65歳以上の高齢者のみの世帯  
▶ 重度身体障がい者のみの世帯（身体障害者手帳1、2級）  
▶ 家族が同居しているが、仕事などで不在がちで65歳以上の人人が長時間単身となる世帯

##### 【利用料】

機器の貸し出しや操作支援、安否確認などは無料

##### ■買い物支援サービス

交通の不便な地域を対象に隔週で、自宅から商店までの送迎を行う「買い物送迎サービス」と決まった曜日に電話で注文した商品を自宅に届ける「宅配サービス」を行います。

##### 【対象者】

▶ 75歳以上の高齢者のみの世帯  
▶ 重度身体障がい者のみの世帯（身体障害者手帳1、2級）

##### 【利用料】

無料

#### 高齢者見守りサービスの利用方法

- ①役場保健福祉環境課（①窓口）で利用申し込み（電話でも可）
- ②調査員が訪問調査に伺います
- ③サービス利用可否決定
- ④サービス提供

#### 介護予防ポイント事業の登録者を募集しています

町の介護予防事業や老人クラブ活動などへの参加やボランティア活動などを行った場合にポイントを付与し、たまたまポイントに応じて地域お買物券に交換できる介護予防ポイント事業の登録者を募集しています。対象者は、町内在住の65歳以上の人で、介護認定を受けていないことなどが条件です。

申請は、役場①窓口で受け付けています。皆さんも日ごろの健康維持や生きがいづくりのための介護予防ポイントを貯めて、お得なお買物券に交換しませんか。





### かたり調査にご注意を

「かたり調査」とは国勢調査など公的な統計調査を装い、世帯を訪問して記入した調査票をだまし取ったり、世帯の家族構成などを電話で聞き出したりする不正行為のことです。統計調査の実施を妨げるだけでなく、詐欺やその他の犯罪にもつながりかねませんので、ご注意ください。

### 被害に遭わないためのポイント

- ▶ 電話やメールで国勢調査を依頼することはありません
  - ▶ 国勢調査には「収入、預金など」に関する調査事項はありません
  - ▶ 国勢調査員は、常に「調査員証」を携帯しています
- 問 国勢調査添田町実施本部(☎82-5965)

今年は  
5年に1度の



日本に住む全ての人が対象です

# 国勢調査

5年に1度、日本に住んでいるすべての人を対象として行う国勢調査。わが国の人口・世帯の実態を明らかにする、國の最も基本的な統計調査です。



### ■ 調査する項目は全部で16項目

- ①世帯員の数／②住居の種類／③氏名・性別／④世帯主との続柄／⑤生年月日／⑥配偶者の有無／⑦国籍／⑧現在の場所に住んでいる期間／⑨5年前の居住地／⑩教育／⑪仕事の有無／⑫従業地・進学地／⑬そこまでの交通機関／⑭お勤めか自営か／⑮勤め先の名称および事業内容／⑯本人の仕事内容
- ↑調査用紙は表裏あります



### ■ 調査結果の活用

#### ▶ 法律に基づく利用

衆議院議員小選挙区の画定基準、地方交付税の算定基準など

#### ▶ 行政施策などへの利用

高齢者福祉や子育て環境の充実、雇用対策など各種の行政施策の基礎資料として使われています。

#### ▶ 学術、教育、民間などの分野で利用

人口学、経済学、社会学等の学術研究をはじめ、小中学校等での教育資料、民間企業での需要予測や店舗の立地計画などに幅広く活用されています。

### スマホやパソコンでインターネット回答

#### ○インターネット回答期間

9月14日(月)～10月7日(水)

意外と簡単！ 便利なインターネット回答をご利用ください。

#### STEP ③ ログイン



ここを確認！

案内に従って回答します。最後にパスワードを設定し、送信すれば調査は終了です。

回答時間は  
1人あたり  
約10分です!!

インターネットで回答すると以降、調査員は訪問しません。

調査方法が  
わからないときは？

公式HPで確認、または添田町国勢調査実施本部に問い合わせください。



国勢調査2020

検索

### ③提出の確認と集計結果

回答された調査票に記入漏れなどがないか確認します。10月7日(水)までに回答が確認できていない世帯には、調査員が再度訪問します。なお、集計結果は「広報そえだ」でも公表します。

### ②調査票またはインターネットで回答

国勢調査は、調査票用紙かインターネットでの回答になります。調査票用紙で回答する場合は、黒の鉛筆かシャープペンシルで記入し、10月7日(水)までに回収に伺う調査員に渡してください。

### ①調査書類の受け取り

### 調査の流れ

調査員が9月14日(月)～30日(水)の間に皆さんの自宅を訪問し、調査票などの調査書類の入った封筒を配布します。

←調査書類の入った調査封筒



※新型コロナウイルス感染症対策として、調査員は毎日の検温、マスク着用、手指の消毒などを徹底し、調査書類の配布は一定の距離を保ちつつ簡潔に行います。

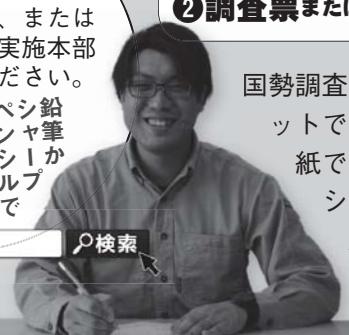


### 調査の流れ

の実施方法を紹介します。  
令和2年国勢調査の調査

### ①調査書類の受け取り

回答された調査票に記入漏れなどがないか確認します。10月7日(水)までに回答が確認できていない世帯には、調査員が再度訪問します。なお、集計結果は「広報そえだ」でも公表します。



### ②調査票またはインターネットで回答

国勢調査は、調査票用紙かインターネットでの回答になります。調査票用紙で回答する場合は、黒の鉛筆かシャープペンシルで記入し、10月7日(水)までに回収に伺う調査員に渡してください。

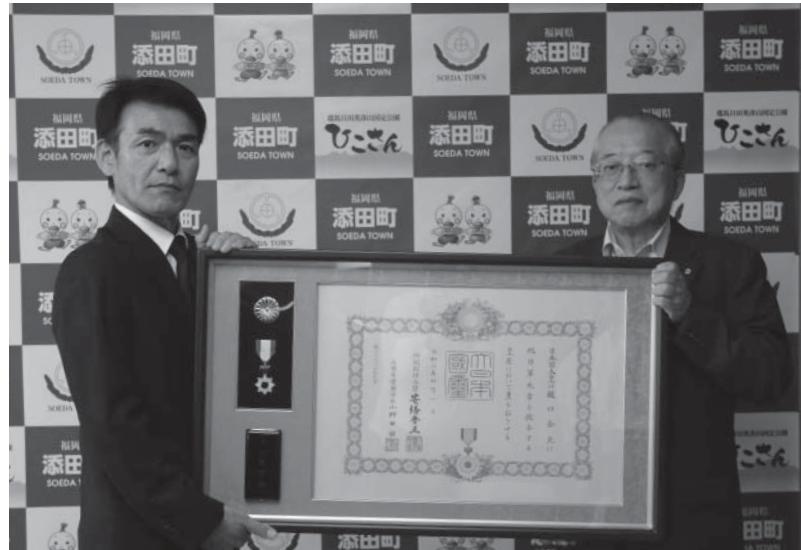
### ③提出の確認と集計結果

回答された調査票に記入漏れなどがないか確認します。10月7日(水)までに回答が確認できていない世帯には、調査員が再度訪問します。なお、集計結果は「広報そえだ」でも公表します。

# まちの話題



↓出席がかなわなかった樋口金光さんの代理として出席した樋口直樹さんに伝達されました



## 波田陽区さんが町長の昼食を中継 KBCふるさとWish

8月17日から23日までKBCのテレビとラジオで添田町が特集された「ふるさとWish」。8月20日はタレントの波田陽区さんが、町長室からラジオで生中継しました。波田さんは寺西町長に町の魅力などをインタビューし、寺西町長のお昼ごはんの天狗鹿カレーと地元産の野菜サラダ、バナナようかんを食べていました。



↑放送後、「とてもおいしいです」と完食の波田さん

## 自衛官を目指す人はいつでも相談を 自衛隊募集相談員委嘱式

自衛官募集相談員委嘱状交付式が7月6日、役場で行われ、加来勉さん(岩瀬)に藤田副町長から委嘱状が手渡されました。相談員の任期は2年間で、自衛官志願者に関する情報の提供や学校への募集協力の促進、自衛隊の広報活動などの支援をボランティアで行います。自衛官に関心のある人は、お気軽に相談してください。



↑関心のある人は加来勉さん(☎ 82-0048)まで連絡を

## 青い羽根募金でボランティアを支援 福岡県水難救助会から感謝状

沿岸での海難救助などの事業を行う(公社)福岡県水難救助会から町に対し、感謝状が贈呈されました。7月の海の日に合わせ行われている「青い羽根募金」活動を通じ、ボランティアで人命救助にあたる救助所員の支援などに寄与した功績が認められたもので、8月21日、今林久会長から寺西町長に感謝状が手渡されました。



↑今林会長から寺西町長に感謝状が手渡されました

## 庁舎をすてきに彩る添田町産の草花 田川地域の花を展示

コロナで落ち込んだ花の消費促進と地域で作られた花の利用場面を増やし、花農家を応援するため、役場に盛花が飾られました。町内10人の花農家が作ったトルコギキョウやケイトウ、スプレーギクなどの花や、ユーカリやバジルなどの葉をJAたがわ花き部会員の皆さんがあレンジメントしたもので、展示中は来庁者の目を楽しませていました。↑町では農家さんが多くの花を栽培



## 樋口金光さん旭日単光章受章 高齢者叙勲

長年、地方行政に多大な功績を収めたとして、元添田町議会副議長の樋口金光さん(下落合)が旭日単光章を受章しました。地域住民の厚い信望を得て、平成2年7月に添田町議会議員に初当選、平成18年7月まで4期16年にわたって観光や農林業の振興、住民福祉の向上などに尽力した樋口さん。平成14年7月から4年間は副議長として、情熱と誠意を持って町の発展に力を注ぎました。7月30日に役場で行われた伝達式では、新型コロナウイルス感染症の感染予防のため、出席できなかった樋口さんに代わり、長男の直樹さんに寺西町長から勲記・勲章が伝達されました。

## ●町の感染症対策

町では、増加中の感染確認を受け、今後町内で感染が拡大するがないよう、また、出来るだけ町民の皆さんに不安が生じないよう、次とおり、引き続き必要な対策を講じます。

- ①町民の皆さまの不安を解消するため、防災行政無線や町ホームページ、広報紙などを活用して注意喚起と必要な情報の提供に努めます
- ②町主催の行事や町所有の施設の使用にあたっては、感染予防対策に万全を期した対応を図ります

## ●引き続き、感染症対策をお願いします

町民の皆さまは「人にうつさない」「人からうつされない」との意識を持って行動してください。

- ①マスク着用や手洗い、人との距離の確保、3密の回避など「新しい生活様式」の確実な実践をお願いします

※マスク着用時は熱中症などに注意してください

### 「新しい生活様式」の実践例



- ②不要不急の外出を避け、外出時も、自身の健康状態はもとより、目的地の感染状況、利用する施設や店舗の感染防止対策を確認し、慎重な行動をお願いします

- ③若い世代の感染者は無症状が多いため、重症化しやすいかたに感染を広げないよう、慎重な行動をお願いします

今後も町や県が発信する新型コロナウイルス感染症の情報に留意し、冷静な判断のもと行動し、皆さま一人ひとりの協力で感染拡大を防ぎましょう。

## ■イベントの開催状況 8月26日現在で決定しているイベントの開催状況をお知らせします

イベント名	開催の状況	問い合わせ先
▶地域づくりセミナー「あなたとつくるシニアライフ」／9月4日開催予定	延期(延期日未定)	添田町社会福祉協議会(☎ 82-2600)
▶添田町敬老会／9月開催予定	中止	保健福祉環境課福祉・高齢者支援係(☎ 82-1231)
▶地区公民館対抗球技大会／10月開催予定	中止	社会教育課文化振興係(☎ 82-2559)
▶ふる里まつり／10月開催予定	中止	地域産業推進課商工業振興係(☎ 82-5962)
▶添田町総合文化祭／11月開催予定	中止	社会教育課文化振興係(☎ 82-2559)
▶添田町金婚式／11月開催予定 ※結婚50年、60年の夫婦に記念品を贈呈	式典は中止	添田町社会福祉協議会(☎ 82-2600)
▶添田町フォトコンテスト／11月30日必着 ※受賞作品の選定数を縮小します	開催	まちづくり課観光振興係(☎ 82-1236)

田川市郡内でも新型コロナウイルスの感染者が発生したとの情報に不安をお持ちのことと思いますが、根拠のない不確かな情報に惑わされず、冷静な行動と思いやりを持った対応をお願いします。

# 感染症対策の徹底を

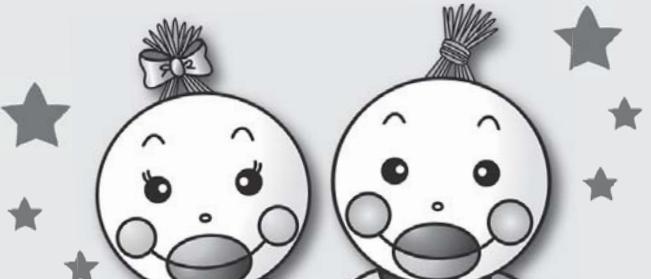


9月生まれ  
HAPPY BIRTHDAY  
**おめでとう**



浦野 愛太ちゃん  
9月28日生 ①・真木団地

お誕生日おめでとう！これからもすくすくと育ってね♡みんなの癒しです



### お子さんの写真を掲載しませんか

3歳までのお子さんの写真を募集しています。写真とメッセージを添えて、役場総務課広報・秘書係(☎ 82-4000)にEメール(koho@town.soeda.fukuoka.jp)で送信ください。10月生まれの締め切りは9月16日です。

## 人権みんなの110番 NOヘイトスピーチ

ヘイトスピーチ解消のための法律「本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に関する取組の推進に関する法律」が施行され、今年6月で4年が経過していますが、いまだ特定の民族や国籍の人々を排斥する差別的言動が発生しています。ヘイトスピーチは、それを見聞きした方々に悲しみや恐怖、絶望感などを抱かせるものであり、決してあってはならないものです。ヘイトスピーチを知り、ヘイトスピーチをなくしていくことの必要性について理解を深め、民族や国籍を超えて、お互いの尊重を尊重しあう社会をともに築きましょう。ヘイトスピーチによる被害など、人権に関する問題でお悩みの方はご相談ください。

●人権みんなの110番(全国共通人権相談ダイヤル)  
(☎ 0570-003-110)



## 参道が光の道に「天空の灯火」

英彦山門前町同好会×添田町地域おこし協力隊

英彦山神宮表参道の復興や活性化に取り組む英彦山門前町同好会(松養貞会長)と地域おこし協力隊によるイベントが8月14日、英彦山で開催されました。「天空の灯火」と題したこのイベントは、英彦山表参道を夕日が真っ直ぐに照らす光の道を観賞し、日没後は参道沿いを灯籠の明りで照らすものです。まず参加者は、かつて山伏の住居だった松養坊で、松養さんから英彦山と太陽の関係性や昔からの英彦山のお盆の過ごし方などの説明を受けた後、山菜などが入った手作り弁当を味わいました。いよいよ太陽が沈みかけると、木々の間から参道に夕日が差し込み、石畳が黄金色に染まって光の道に。その光景を前に訪れた人は、



年2回、5月と8月だけ見られる光の道

静かに眺めたり、カメラのシャッターを切ったりしていました。日没後、紙や竹の灯籠が参道沿いに並べられ、ろうそくの明かりが点けられると幻想的な光の道が作り出されていました。



①九州大学で修験道を研究する外国人の皆さんも参加していました ②かつて山伏の住居だった松養坊では宿坊体験も企画中です ③100年以上前から使われている漆箱に入ったお弁当 ④沈む太陽と参道の位置関係や英彦山のお盆の過ごし方などについて説明する松養さん ⑤参道沿いに並べた約150個の灯籠に明りが灯されました

# 文芸歳時記

[短歌 春扇短歌会 篠紫支社]

吹き渡る風もさやかに麦の畑

ひと足早き夏の香りす

田起ごしの赤いトラクター来たなれば

白鷺五羽がふいに降り立つ

五十嵐田鶴

藤袴の花咲く季には早けれど

アサギマダラは今日も庭飛ぶ

平井 朝子

ライト浴び白き小猫は旋律を

奏てる如く小走りに去る

福富 廣枝

コロナ禍の中に待ちわびし登校の

児童の元気に暑さ心配す

荒巻ミサ子

この年の初めての紫陽花大輪を

毎朝眺めてときめてをり

木村 寛子

**[俳句 投稿]**

夾竹桃燃やせば毒をはつせいか  
川辺駆け歎声上げる子供達

梅雨明けの陽気になびく草花よ  
虫の声季節かんじて衣更え

奉幣殿見上ぐ杉の秀秋高し

麦秋の色に出にけり茶の旨さ  
小満や活気のもどる道の駅

胡蝶蘭ゆるりと開く二夕七日  
薰風や橋を渡れば陶の里

ストローの紅の嘴み跡ソーダ水  
立花 克明

**[川柳 投稿]**

子や孫に引き継ぐ遺産わが血筋  
ありがどう元気をくれるウォーキング 原田 順子  
※天籟通信添田句会は都合により、お休みさせていただきます。

●10月号に掲載する俳句・短歌・川柳を募集します。掲載を希望する人は9月16日(水)までに役場総務課に連絡してください。  
※投稿は1人一句までとします。また投稿の際は俳句・短歌・川柳の区分と連絡先を書いてください。

問 役場総務課広報・秘書係 (☎ 82-4000)





# 教育のひろば

●公民館講座 参加者募集  
はじめてのアウトドア教室

オークホールでは、9月からの公民館講座「はじめてのアウトドア教室」の受講者を随時募集しています。キャンプや野外調理、クラフトに登山など、自然の中でのアウトドアを皆さんも楽しんでみませんか。

●9月19日㈯ 森林ヨガと焙煎から始める山コーヒー&お花のフルーツサンド作り（マイカップ持参）  
※子ども用は「インスタ映えするイチゴミルクを作ろう」

▶ところ 英彦山野営場  
●10月17日㈯ 秋の味覚キノコカレーを作ろう&テント・ハンモックの張り方  
▶ところ 英彦山青年の家

●11月21日㈯ 小次郎ゆかりの「岩石山」登山

▶ところ 岩石山  
●12月19日㈯ 英彦山の植物を撮影しよう&松ぼっくりのクリスマスリース作り

▶ところ 英彦山青年の家

【各講座共通です】

▶時間 10時～15時予定

▶定員 20人（先着順）

▶対象者 小学校高学年以上（高校生以下は保護者同伴）

▶材料費 1人 500円程度

※9月開催講座の募集締め切りは、9月16日水です。

※講座の詳細や準備品などは、申込時にお伝えします。

※新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、参加の際はマスク着用などの感染症対策をお願いします。

問 オークホール(☎82-2559)

# Information くらしに役立つ情報満載

一緒に「まちづくり」をしていませんか

## 添田町職員採用登録試験



【1次試験】10月18日㈰

【試験会場】添田町役場

【試験方法】高校卒業程度の教養筆記試験

【試験職種・採用人数】

▶一般事務A =若干名

▶一般事務B（管理栄養士）=1人

【受験資格】

▶一般事務A =平成2年4月2日から平成15年4月1日までに生まれた人

▶一般事務B（管理栄養士）=平成2年4月2日以降に生まれた人で、管理栄養士の資格を有する人、または令和3年3月末までに資格取得見込みの人

※その他にも、受験資格が複数あります。  
詳しくは採用試験実施要綱を確認ください。

【初任給】一般事務職大卒182,200円程度

【受付期限】9月11日金

※土・日を除く8時30分～17時15分。

※郵送の場合は簡易書留で9月11日金必着。

【提出書類】

▶一般事務 A =①添田町職員採用登録試験申込書 ②受験票

▶一般事務B（管理栄養士）=①添田町職員採用登録試験申込書 ②受験票 ③「資格取得証明書」または「資格取得見込証明書」

※申込書などは役場総務課総務係で交付しています。また、郵送や添田町ホ

ームページからダウンロードもできますので、詳しくは問い合わせください。

【書類提出・問い合わせ】

〒824-0691  
添田町大字添田2151番地  
添田町役場総務課総務係  
(☎82-1231)

## 試験・講習会

### 自衛官採用試験

■試験日	11月21日㈯または、 22日㈰
■受付期間	9月11日金～11月 10日火
■試験会場	陸上自衛隊小倉駐屯地（北九州市）
■就職説明会	10日火



陸上自衛隊フェイスブックより引用

※参加無料、予約不要、入退場自由です。
▼ところ 自衛隊福岡地方協力本部飯塚地域事務所（飯塚市）

■受験手数料	8千100円（福岡県領収証紙で納入）
■願書提出先	福岡県商工部工業保安課
■受付場所	（公社）福岡県危険物安全協会（福岡市）
■申請書配布場所	田川地区消防防本部内（一社）田川地区防災協会事務局

■受講料	無料（教科書・作業着などは自己負担）
■対象者	公共職業安定所（八ローカー）に求職を申し込みしている人
■募集期間	9月25日金
■受付期限	9月25日金

■づくりCAD科CAMコース（20人）
■対象者
■募集期間
■受付期限
■申込先

## Information くらしに役立つ情報満載

### 福岡県公共職業訓練の施設内訓練生募集

福岡県では、岩石採取に伴なう災害防止に関して必要な知識および技術的事項についての採石業務管理者試験を実施します。

▶ところ 福岡県吉塚合同庁舎（福岡市）

■試験方法 筆記試験

■施設見学会・説明会

問

■願書提出期限 9月11日金17時

■受験手数料 8千100円（福岡県領収証紙で納入）

■受験料

問

■願書提出先 福岡県商工部工業保安課

■受付場所 （公社）福岡県危険物安全協会（福岡市）

■申請書配布場所 田川地区消防防本部内（一社）田川地区防災協会事務局

問

■受付期限 9月25日金

■受付料

■受験料

問

■受験手数料 8千100円（福岡県領収証紙で納入）

■受験料





コロナ対策は万全  
高まる鼓動



メロディに合わせ  
刻むビート



魅せろ、軽快な  
スティックさばき



## ●公民館講座「ドラム教室演奏発表会」フォトリポート 音楽に合わせ、刻めリズム

昨年度、公民館講座で練習に励んできたドラム教室の生徒たちによる発表会が8月9日にオーケークホールで行われました。当初、3月の予定でしたが、新型コロナウイルスのため延期となり、今回感染症対策を万全にして行われた発表会。小学校6年生から84歳までの26組の皆さん、ステージ上でスポットライトを浴びながら、音楽にあわせ、軽快なリズムを刻んでいました。



新型コロナウイルス感染症、身近な発生も見られます。しかし予防措置をとつて対応していきましょう。▼物事を進める上ではいろんな場面で決断を迫られます。苦渋の選択がありました。JR日田彦山線の復旧問題です。豪雨災害に端を発した復旧でしたが、このことにより、これまで封印されていた重要な課題が浮き彫りにされました。過疎地域（中山間地域）の公共交通のあり方です。▼これまで、高齢者の移動の確保だけでなく、まちづくり、児童生徒の安全保障、地域コミュニティづくり、公共交通を利用出来ない人たちの外出確保等に対処すべく事業展開してきました。鉄道、民間バスの廃止に伴い生じた空白地域。公共の役割として、町バスやスクールバス、買い物バスやタクシー券の助成など行っていますが、自動車社会などから利用者の減少で財政的な負担を含め、運行等に支障を来しているのが現状です。▼そこに一石を投じたのが、今回の復旧問題ではなかつたかと思います。民間企業の公共的役割・責任を強く主張し、元のままでの復旧を要求してきました。その過程で、元のまま復旧しても、利用者の減少は続き、利便性の向上は図れない。その先は廃線？ 先延ばしだけではと考えたところです。▼利用者増のため、観光列車を走らせる、森林鉄道として自治体が運営するなど案が出されました。元のまでの鉄道復旧でも、利用者にとつても、現実的ではない状況でした。元のまでの鉄道復旧で守りを固めるのか。別の方策で打つ出るのか選択を迫られました。▼その中の選択が、今を変える対応でした。BRTバスでの輸送システムです。地域の交通政策づくりは、生活交通だけでなく、地域福祉の課題でもあり、教育、地域コミュニティなど住民が地域で生きていく上の土台となる総合的な社会政策づくりです。この機会を捉え、守りから攻めに転じるべきではないかと考えました。▼メリット、デメリットあります。守りを図り対応するにはあまりにも情勢がよくありません。沿線を整備し、総合的なまちづくりと連携した社会政策づくりを行うことがベターだと考えたところです。▼既存の駅舎等をBRT等への対応仕様に再構築することや、地域の利便性のため、この路線と繋ぐ一次交通としてグリーンスロープモビリティの実証実験、まちづくりのための鉄道跡地の利用など今後の管理運営等を含め対応していくなければなりません。地域の皆さんが安心して安全に利用出来る交通体系を考え対応して行きたいと思っています。